

公民館事業の充実について

**問** 公民館を地域コミュニティと行政サービスの拠点とし、又まちづくり、人づくりの拠点施設としてさらに充実を図るべきと考えますが、どのような機能をお考えですか

**答** 公民館は、地域住民の各種文化活動やスポーツ、レクリエーションの拠点として、様々な団体の会合、研修の場として大いに活用され、市として施設や設備の充実にも努めております。又公民館にはよりきめ細かい行政の推進を図るための出張的機能、万が一の場合の避難所、子育て支援、さらには高齢化時代における「生きがいデザインサービス事業」の地域型実施の拠点など広範で多岐にわたる機能が求められております。その拠点施設として、「新総合計画」の中にも位置付けてまいりたいと考えております。

御前崎港整備におけるマリーナ計画について

**問** 御前崎港の整備が進む中、海洋性レクリエーションに対応するための、マリーナ事業計画・管理運営について市の関わりと現状は

**答** 現在マリーナ事業は、平成17年度を目標年次とした「御前崎港港湾計画」に基づいて計画されています。4月上旬までにはオープンを予定しています。管理は御前崎埠頭株式会社が主体となり運営していきます。

東海地震津波の

挙動分析について

**問** 昨年11月に海上保安庁から、県下9箇所（港湾）について「津波防災情報図」が公表されましたが、心配される津波にどう対応するの

か、緊急避難路等の確保と見直しは。又飲料水の確保は

**答** 県の第3次地震被害想定に基づき防災計画を策定しています。緊急避難路の確保として女岩観音坂線ほか2路線を計画し、見直しが必要な箇所も含めて整備したい。尚、飲料水兼用貯水槽は、18年度は3基設置する計画です。

公共施設のユニバーサルデザイン化について

**問** 高齢化社会を迎え、障害者や弱者対策として、施設の利用度を高めるための積極的な対応は

**答** ユニバーサルデザインの理念は、官民問わず生活環境の整備に積極的に取り入れていかなければならないと思っています。